

# 平成筑豊鉄道安全報告書

2011年度版



この安全報告書は、当社における鉄道輸送の安全確保に向けた取組みや安全の実態をまとめたものです。





門司港レトロ観光線

## 安 全 報 告 書

平成23年度版

この安全報告書は、平成筑豊鉄道（株）（第2種鉄道事業者）・北九州市（第3種鉄道事業者）における鉄道輸送の安全確保に向けた平成22年度の取り組みや安全の実態をまとめたものです。



平成筑豊鉄道（株）・北 九 州 市

- ◆ 安全報告書の発行にあたって
- ◆ 安全に関する基本的な方針
- ◆ 平成22年度安全目標
- ◆ 平成22年度の事故等の状況
- ◆ 安全管理体制と安全管理の方法
- ◆ 安全確保のための措置状況と今後の計画
- ◆ その他

(注) 報告書の記載内容のうち、特に会社名が記載されていない事項については、平成筑豊鉄道(株)と北九州市とで一体となり取り組んできた内容となっています。

## ◆ 安全報告書の発行にあたって

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

平素より、門司港レトロ観光線をご利用いただき有り難うございます。また平成筑豊鉄道の鉄道事業に対しても、ご理解、ご協力いただき重ねてお礼申し上げます。

当社は、安全が全ての基本であることを経営トップから社員までの全員が念頭におき、安全、安定輸送に努めています。また常に安全管理体制の改善を行い、さらなる安全向上に努め「安全で安心、快適な鉄道」として信頼される公共交通機関を目指しております。

この報告書は、鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための取組みや安全の実態を取りまとめて公表するものです。皆様からのお声を輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見等を頂戴できれば幸いです

第二種鉄道事業

平成筑豊鉄道株式会社　社長　伊藤信勝

平成21年4月26日、「門司港レトロ線」は観光振興を目的とする特定目的鉄道として開業しました。北九州市が「第三種鉄道事業者」として鉄道施設を保有し、平成筑豊鉄道(株)が「第二種鉄道事業者」として列車を運行する「上下分離方式」で事業を行っています。

事業の安全・安心の確保につきましては、本市と平成筑豊鉄道(株)が、緊密な連携のもと、一体となって取り組んでおります。

今後も、お客様や地元の皆様のご理解ご協力を賜りながら、安全・安心の確保を最優先に日々の業務に取り組むとともに、本市の観光振興及び地域振興に貢献していくため、事業を推進してまいります。

第三種鉄道事業

北九州市　市長　北橋健治

## ◆ 安全に関する基本的な方針

施設を保有する北九州市と列車の運行を行う平成筑豊鉄道(株)は、緊密な連携を保持し、その輸送の安全の確保するための基本的な方針として、

1. 一致協力して輸送の安全確保に努めます。
2. 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
3. 常に輸送の安全に関する状況を把握し理解するように努めます。
4. 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
5. 事故・災害が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を行います。
6. 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
7. 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

を行動規範に掲げ、安全確保の水準の維持及び向上を図っていくことにしています。

なお、この安全方針は、業務の実施状況等を踏まえ、必要に応じ見直しまいります。

## ◆ 平成22年度安全目標

平成22年度も、開業した平成21年度同様に多くのお客様に利用していただきました。このような中で何よりもお客様の安全確保と定時運行以外にないと認識にたち、常日頃から知識・技能の習得に励むとともに、基本動作の実施と絶え間ない努力の積み重ね、そして鉄道施設・車両の保守点検を怠りなく実施し、「乗客の安全が最優先の意識の徹底」と「社内原因による運休ゼロ」を達成していくことを目標とし、次の重点実施事項を掲げ、具体的に取り組んでまいります。

### <重点実施事項>

1. 安全管理体制の充実・強化
2. 運転従事員の教育・訓練の充実
3. ハード・ソフト対策の充実
4. 委託会社との連携強化
5. 労働災害の防止

## ◆ 平成22年度の事故等の状況

営業運転日数188日（うち 貸切列車のみ運転 60日）総走行キロ約8,058km 17万人（うち有料人数15万人）のお客様に門司港レトロ観光列車を利用していただきました。  
この間 事故等の状況は

### 1. 鉄道運転事故

平成22年度 鉄道運転事故はありませんでした。

	22年度
列車事故（脱線、火災）	0件
鉄道人身事故	0件
障害事故（踏切、道路）	0件
鉄道物損事故	0件

### 2. インシデント（運転事故が発生する恐れがあると認められる事態）

平成22年度 インシデントの発生はありませんでした。

	22年度
閉そく違反	0件
本線逸走	0件
工事違反	0件
車両脱線	0件
施設障害	0件
車両障害	0件
その他	0件

### 3. 輸送障害（30分以上の遅延及び運休）

平成22年度 輸送障害を1件発生させました。

	22年度
輸送障害	1
設備故障等	1
自然災害等	0
第三者行為等	0

#### ・ 設備故障等

車両故障を1件発生させました。（燃料制御電気回路ダイオードの焼損による機関停止）

#### ・ 自然災害等

7月14日 集中豪雨のため、めかり公園駅～瀬戸口車庫間の大久保踏切付近の法面の崩壊が発生しましたが、土砂除去を行った結果、運転には支障がありませんでした。

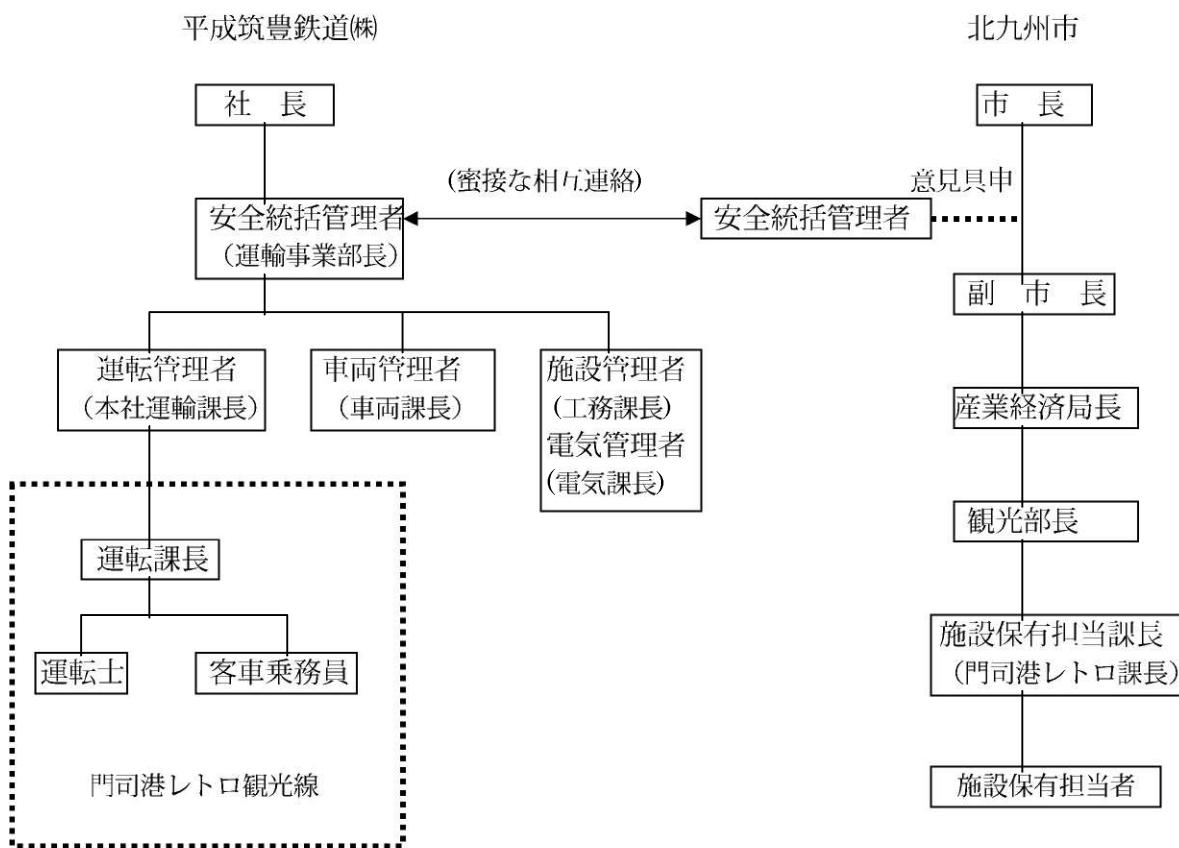
### 4. 行政指導

平成22年度 九州運輸局からの行政指導は受けしておりません。

## ◆ 安全管理体制と安全管理の方法

### 1. 安全管理体制組織図

社長、市長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にした上で、安全確保の役割を担っております。



	役 職	役 割
第2種鉄道事業 平成筑豊鉄道（株）	社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
	安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する
	運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する
	工務管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設（電気関係を除く）に関する事項を統括する
	電気管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設の電気に関する事項を統括する
	車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する
第3種鉄道事業 北 九 州 市	市 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う
	安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する
	施設保有担当課長	鉄道施設管理及びそれに関する予算等の実務を管理する

## 2. 安全管理の方法

### (1) 役職者の巡回・点検

観光列車のため、お客さまが集中するGWや夏休みには、双方の管理者が随時列車添乗、徒步巡回を行い、現状把握と問題点の摘出し改善を図っていくことにしています。

### (2) 運転・車両・設備事故防止検討会の開催

運転・車両・設備故障防止について、検討会を開催し、情報の共有と事故・故障の撲滅を図るため、双方の安全統括管理者をトップとした検討会を設置しています。

### (3) 人材の育成・教育

#### ア 人材の育成・教育

運転士間や客室乗務員間それぞれが適宜に技能、専門知識及び安全意識の向上を図るために、ミーティングを開催し、より一層の安全運行に努めます。

#### イ 異常時訓練の実施

万一の事故等に際し、安全かつ正確、迅速にお客様の避難・誘導が行えるよう年一回以上は、異常時訓練を実施します。

## ◆ 安全確保のための措置状況と今後の計画

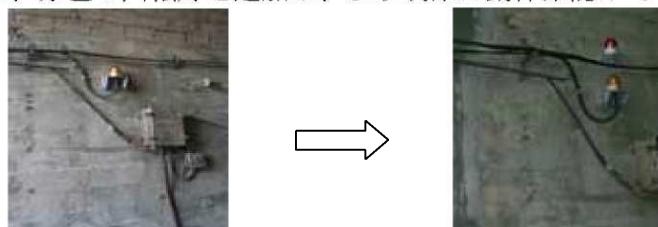
### 1. 地上設備・車両設備

#### (1) 地上設備

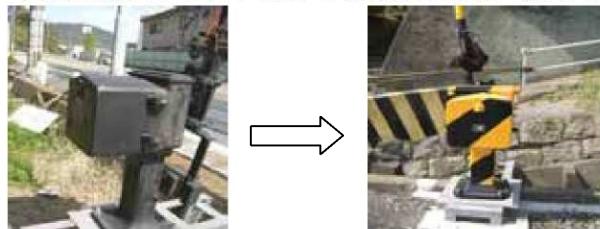
ア 枕木は定期的に交換しており、レールについても今後、計画的に取替えを推進していきます。



イ めかりトンネル踏切は、運転士のトンネル側からの見通しが悪く、踏切の安全確認が不十分なため、開業時、踏切降下時黄色の回転灯を点灯させ降下確認できるようにするとともに、赤色の回転灯を追加し、より明確に動作確認ができるようにしました。



ウ 平成22年11月5日、九州鉄道記念館駅～出光美術館駅の港町踏切の遮断器を取替えました。今後も製造年の古い物から順次計画的に取替えを推進していきます。



エ 平成22年7月14日の集中豪雨時、関門海峡めかり公園駅～瀬戸口車庫間の大久保踏切付近の法面（国保有の山林）が崩壊しました。平成23年9月より災害箇所の復旧工事を国が進めていく予定です。

オ 開業後、県道261号線から線路への雨水流入対策として、側溝への排水構を設置しました。



## (2) 車両設備

ア 平成23年3月29日、燃料制御系電気回路を構成するダイオードの焼損による機関停止により車両故障を一件発生させたことから、損傷したダイオードの取替えを図るとともに、予防保全（経年による他のダイオード）による整備を図りました。

イ 平成23年度には、客車の重要部検査を行い、輸送の安全確保と快適な乗り心地に努めます。さらに平成24年度には、機関車の重要部検査を実施する予定です。

## 2. 人材訓練

### (1) 新人者の教育・訓練

平成22年度、運転士に対しては、これまで通り、各種規程の周知及び車両構造並びに列車検査マニュアルに基づく現車実習、客車乗務員に対しては、各種規程の周知のための机上教育や、現車実習を実施しました。

### (2) 異常時訓練

平成21年度は、めかり公園から線路に流出した土砂に機関車が乗り上げ、脱線した事故を想定した緊急呼出体制表に基づき訓練を実施しましたが、今後も同様な訓練を積極的に実施していきます。

## ◆ その他

### 1. 地元の皆さん・観光客の皆さまとの連携とお願い

#### (1) 踏切通行上のご注意

鉄道記念館駅から車庫までわずか2.9kmですが、その間に12箇所もの踏切があります。

すべて遮断機がついた踏切ですが、通行の際は、必ず一旦停止をし、左右確認後通行していただくようお願いします。また踏切故障を発見していただいた際は、ぜひご連絡くださるようお願いします。



#### (2) 安全報告書へのご感想、安全への取り組みに対するご意見 連絡先

平成筑豊鉄道(株) 門司港事業所

TEL 093-331-1065  
Fax 093-331-1265

北九州市 門司港レトロ課

TEL 093-322-1188  
Fax 093-322-3033